

2023年1月4日

各位

株式会社大和証券グループ本社

2023年 中田社長 新春ご挨拶

あけましておめでとうございます。

昨年は、引き続きコロナ禍に直面する中、ウクライナをめぐる国際情勢の深刻化、資源価格をはじめとしたインフレの進行、米国の金利上昇に伴う急速な円安進行、日本銀行による金融緩和政策の見直し等により、マーケットは最後まで激しい変動に見舞われた一年となりました。

しかしながら、グローバルではウィズコロナ時代の到来が鮮明化し、経済活動の正常化が着実に進行すると共に、年後半はマーケットの最大の懸案であった米国のインフレについてピークアウトの兆しが見えるなど、株式相場の本格的な復活が期待できる局面にあると考えております。

大和証券グループとしては、昨年は中期経営計画“Passion for the Best”2023の基本方針である「クライアントファーストとクオリティ No.1の実現」と「ハイブリッド戦略による新たな資金循環の確立」の深化を進め、資産管理型ビジネスモデルへの移行とハイブリッドビジネスの伸長による収益構造の多様化などの着実な進捗があった一年であり、これらの戦略は中期経営計画の最終年度を迎える本年も引き続き推進していきます。

また、大和証券グループでは、ESGについて一貫して取り組んで参りました。この取組が評価され、昨年末には国際環境非営利団体 CDP^{*1}より気候変動対応の世界最高評価となる「Aリスト企業」に選定され、また MSCI^{*2}社より ESG 格付け評価は最高の「AAA」を獲得しました。

ESGの潮流は、引き続き揺るぎ無いものと考えており、本年も高い評価が得られるように引き続き注力していきます。

そして、昨年末の税制改正大綱にて公表された新しい NISA においては、非課税保有期間の恒久化や、非課税保有限度額の 1,800 万円までの引き上げなど、抜本的拡充が行われております。これにより我が国の「貯蓄から投資」への流れが強力に加速すると考えており、大和証券グループもこれに貢献すべく全力で邁進して参ります。

皆様におかれましては、本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

本年も大和証券グループをよろしく願い申し上げます。

以上

- ※1 130 兆米ドル以上の資産を持つ 680 社以上の機関投資家と、6.4 兆米ドルの調達支出を持つ 280 社の大手購買企業の要請に基づき、企業や自治体に対して、環境への影響、リスク、機会に関するデータの開示を求める NGO。
- ※2 米国・ニューヨークに拠点を置く金融サービス企業。ニューヨーク証券取引所に上場しており、大規模公的年金や資産運用会社、ヘッジファンド等、世界中の機関投資家に対して、投資意思決定をサポートするさまざまなツールを提供している。